

古い建物をいかした 地域おこし交流フォーラム

～次世代の担い手が育つまちとは



3/8 SUN 13:00~15:30 無料

小諸市市民交流センター ステラホール

*開始前と終了後、ロビーにパンフレットや書籍類が並びます。
*参加者は市役所地下Pの駐車無料(1Fセンター受付に駐車券を提示)

1部 古い建物活用の事例紹介 小諸佐久周辺

プレゼンター：荻原礼子 / まちづくりプランナー

■小諸宿の建物再生の取り組み

■まちの魅力となったリノベの店&宿

飲食 そば七、火付け盗賊、中吉、チッタスロー (小諸市)
 カフェ ユウシカフェ (佐久市望月)、マルカフェ (佐久市平賀)
 ギャラリー & 工房 ガラス工房 橙 (東御市海野宿)
 ギャラリー or 体験 & ステイ 信濃追分文化磁場 油や (軽井沢町信濃追分)、橘倉酒造 クラビトステイ (佐久市白田/建設中)
 ステイ & シェアハウス 柏屋旅館 (佐久市中込)

2部 次世代セッション 14:10~

今、若者を惹きつける古い建物とまちの魅力

建物再生を進めているまちで店づくりを実践する4人のパネラーが登壇。各地での取り組みを紹介し、まちの未来を語り合います。

コーディネーター：武者 忠彦 / 信州大学経済学部 准教授
パネラー：

小諸市 鴨川 知征 / 料理人、地域おこし協力隊 OB(アドバイザー)

佐久穂町 井出 正臣 / 建築士、(一社)コノマチ代表

長和町和田宿 清水 優里 / 料理人、石窯 cafe KOKUYA 店主

上田市柳町 池松 勇樹 / 柳町屋店主、柳町振興会事務局

*敬称略

同日開催 北国街道小諸宿のお人形さんめぐり

2月22日(土)~3月8日(日)

北国街道沿い町並みでの人形展示

町並みガイドツアー 10:00~12:00 1000円

ランチ付 予約 0267-22-0568(観光案内所)



Illustration・Emura Yasuko

主催：NPO 法人 小諸町並み研究会

URL: <https://machinami.wixsite.com/komoro> ☎ 090-1200-0239 (荻原)

共催：本町区まちづくり推進協議会

後援：小諸市、(一社)こもろ観光局、小諸商工会議所、こもろ観光ガイド協会、北国街道

小諸宿の会、信州の歴史的まちなみネットワーク

協力：長野大学環境ツーリズム学部熊谷研究室 長野県地域発 元気づくり支援金助成事業

若い世代にまちの魅力を知ってもらい、古い建物を活かした店や宿づくりに挑戦してもらいましょう。みんなでそれを応援しましょう。そして、まちの未来のことを一緒に考えていきましょう。

今、古い建物を生かして店や宿をやりたい、新しい仲間づくりを広げたいと願う若い方が増えています。でも、建物を貸してもらえない、資金がたりない、人通りがないなど、難しいことも多々あります。このフォーラムでは、小諸佐久周辺での取り組みの例を出し合いながら、高齢化や空き家化の進むまちにどのように次世代を呼び込み、どのように商売を成り立たせ、支援できるのか、考えてみたいと思います。



写真提供：(一社)こもろ観光局

2019年7月にオープンした脇本陣の宿 桑屋。
小諸市が取得・整備し、(一社)こもろ観光局が運営。

1部 古い建物活用の店・宿 事例紹介 (小諸佐久周辺)

ユースカフェ (佐久市望月) 若者に絶大な人気のある喫茶店。お年寄りの常連も多い。田舎の祖父の骨董店をセルフリノベ。
マルカフェ (佐久市平賀) 地産地消にこだわる人気カフェ。近くの空き店舗も菓子工房に。祖母の薬局をセルフリノベ。
そば七、火付け盗賊、中吉 (小諸) いずれも10年以上前に江戸の町屋を残そうと店に改装。2軒は二代目に引き継いだ。
チッタスロー (小諸市) 2020年1月に開店。壊されるところだった蔵を、若い夫婦が素敵にイタリアンレストランに再生。
ガラス工房 橙 (東御市海野宿) 1999年から営業。工芸家によるセルフリノベの美しい店。奥の工房も見ごたえあり。
信濃追分文化磁場 油や (軽井沢町信濃追分) 2012年、老舗旅館の保存のためにNPOがシェアギャラリー&ステイを開業。
橘倉酒造 クラビトステイ (佐久市臼田) 2020年3月中に開業予定。世界初、杜氏部屋を改装した酒造り体験&ステイ。
柏屋旅館 (佐久市中込) 2018年、廃業した旅館を建築士が買い取り、ゲストハウス&シェアハウスを運営。外国人も宿泊。



Yushi cafe

上記事例はこのサイトで詳しく紹介しています→ <https://kominka-net.wixsite.com/komoro> (古民家・空き家再生の店&宿)

*古民家再生、リノベーションに実績のある地域の事業者様に、広告ページへのご協力をお願いしています→ Email:komorojyuku@gmail.com

2部 次世代セッションのコーディネーター、パネラー紹介 (敬称略)



武者忠彦 (45才) 信州大学経法学部准教授
佐久市出身。専攻は人文地理学、都市政策。研究室で小諸、佐久穂で町並み調査に参加し、それぞれ「信州まちなみスタディーズ」として出版。引き続き学生達と佐久穂町のまちおこしに取り組んでいます。



井出正臣 (45才) 佐久穂町
佐久穂町出身。一級建築士。井出建設興業株式会社社長。佐久穂町町議会議員。(一社)コノマチ理事長。2012年に信大の武者ゼミ、長野県建築士会佐久支部青年女性委員の協力で佐久穂の町並み調査を行い、その後(一社)コノマチを設立。空き家だった駄菓子屋を、まちおこし拠点「秋葉屋」として運営。そこから様々なプロジェクトが生まれています。それも含め計3軒の空き家を会社として取得・再生。地域の事業者としてできることを模索しています。



鴨川知征 (45才) 小諸市
神奈川県出身。東京の料理店にてキャリアを積み、2016年地域おこし協力隊として小諸に移住。市の空き家バンク担当と並行して、フリーランスシェフとしても活躍。2020年春に小諸市本町の空き家を改装し、レストラン BISTRO AOKUBI を開業予定。



清水優里 (33才) 長和町和田宿
佐久穂町出身。石窯 cafe KOKUYA 店主。結婚を機に長和町へ。二児の母。カフェ開店の夢をもって、料理講座受講からスタート。空き家活用に取り組むNPO 法人 和田宿のあしたを考える会で運営する空き家活用の観光拠点で、2年間、ワンデーシェフとして腕を磨き、独立。NPO が取得・整備した江戸の旅籠を、セルフリノベでおしゃれなカフェに。店では、各種体験プログラム等も実施。観光に頼らず、地元の若者集う店にしたいと工夫を重ねています。



写真:東信ジャーナル社



池松勇樹 (39才) 上田市柳町
長崎市出身。柳町屋店主。柳町振興会事務局。2007年に情報誌「うえだNavi」を創刊。上田の地域資源を掘り起こし、企画、発信の実績を重ねました。2017年に空き家を借りて「柳町屋」をオープン。2018年には年間700台の観光バスの誘致を成功させました。柳町は、まちの振興の立役者であった故岡崎光雄氏(岡崎酒造元会長、信州大学名誉教授)、そば処おお西の大西社長の尽力で2002年から歴史まちづくりに取り組み、景観協定締結や修景事業等を実施。空き家活用の店舗誘致を進めてきました。



メイン会場 北国街道ほんまち町屋館 URL: <https://machiyan.com> (パンフレット掲載)

同日開催イベント紹介

第16回 北国街道小諸宿のお人形さんめぐり 2月22日(土)～3月8日(日)

街道沿いの古い商家などにお雛様が飾られます。
企画展示:ほんまち町屋館、本陣主屋、与良館
町並みガイドツアー 2/23、24、29、3/1、3、7、8
10:00～12:00 脇本陣桑屋でのランチ付(名物うどん)
参加費 1000円 予約 0267-22-0568(観光案内所)
*交流フォーラムの午前中に参加可能です。先着20名。

